



地方行政と中央行政における新しい社会の構築

黒田インターナショナル ファウンデーション
黒田 毅

IOT における社会転換は、アメリカにおける新しいライフスタイルの創造を実現したのである。これら社会転換は新しいライフスタイルの創造を有する。

インダストリー4.0 やスマートシティは、もはや企業における現実であり、3D プリンターなど、新しい時代の潮流は、すでに現実なのである。

そのため、地方行政における企業との連携における地域開発や、モデル都市としての大学と連携した都市開発など、それらの必要性は必ず存在するのである。

他方においてすべての市民がこれら新しい生活を享受することは、政治における新たな合意を求める。

地方行政において、市民社会の運営と生活への義務を行うことは、基本的な生活と新しい時代における生活への参加を明確に提供することを求められる。これは社会学習環境を整備し、製品の購買や、時代先端サービスへの学習環境を提供することは、これら次世代における新しい現実への参加を、市民へ提供できるのである。

基本的な生活スタイルの構築は、モデルとしての参考と学習を提供する。

新しい社会の創造は、新しいシステムと技術を基盤として、飛躍的な効率性と利便性を構築するのである。

これらすべての地方都市において、次世代への移行と新しい社会構築への転換を明確に政治における合意として求められる。それはこれらがすでに現実を支配しているからである。

これらは完全な時代における振り分けが存在するのである。世界におけるエリートが存在は、別次元において既に、現実を有するのである。そのため世界基準と先端性における社会整備は可能であり、その必要性は存在するのである。

Office to access the world.